

「 哺乳時ファイバー評価による理学療法介入の検討 」 へのご協力をお願い

神奈川県立こども医療センター理学療法科では 「 哺乳時ファイバー評価を実施 」 された患者さんを対象に 「 理学療法介入の意義・検討 」 に関する研究を実施しています。この研究は今後の理学療法の介入を変化させ、患者様に役に立つと考えております。

研究課題名	哺乳時のファイバー評価の経験
研究の対象	当院 2023 年 3 月～2024 年 3 月までの哺乳時にファイバー評価を実施した症例
研究の目的・方法 (試料・情報の利用目的及び利用方法)	理学療法士が哺乳評価を行う場合、哺乳時のバイタルサイン、呼吸様式、哺乳行動様式の観察により、患者の哺乳能力を評価しているが、外表面からでは咽頭内部の観察が不可能であるため、セラピストの経験値に判断が委ねられている部分がある。今回、我々は新生児科医と協力して、哺乳時のファイバー評価を経験した内容をまとめ、その意義を検証し学術集会などで報告する。
研究期間	2024 年 5 月 ～ 2027 年 3 月
研究に使用する試料・情報の項目	年齢、性別、診断名、理学療法評価、呼吸デバイス、哺乳デバイス、哺乳姿勢、哺乳量、呼吸状態、栄養状態、ファイバー所見、退院時の哺乳状況など、哺乳評価に関するデータ 個人特定情報は利用しません
試料・情報の取得方法	カルテより後方視的に調査
共同研究機関と研究責任者 試料・情報の提供先の機関 (名称と機関の長の名称)	本研究はこども医療センターのみで実施され、試料・情報の他機関への提供はありません。
本研究の情報の管理について責任を有する者・所属	理学療法科 安田 紀子 翠川 麻理絵

本研究はヘルシンキ宣言（2013 年 10 月 WMA フォルタレザ総会での修正版）及び人を対象とする生命科学・医学系研究に関する倫理指針、個人情報の保護に関する法律等に従って実施され、患者さんの個人が特定できる情報とは切り離れたうえで使用し、個人情報が外部に漏れることがないようにします。また、プライバシーにも十分に配慮して行います。

研究の成果は関係の学会や学術雑誌で発表されますが、患者さん個人を特定できることはありません。

研究者は企業等から独立して計画を立案し実施いたしますので、本研究の結果および解析等に影響を及ぼすことはありません。又は、開示すべき利益相反はありません。

本研究の対象となる患者さんご自身やご家族でお子さんの情報は利用しないしてほしい等のご要望がご

ございましたら、下記連絡先までご連絡ください。この研究においてはあなた又はあなたのお子さんの情報は使用しませんし、既に情報を抽出しているときは削除します。その場合も診療において不利益を被ることはございません。

尚、統計解析開始後は情報の削除ができないことをご了承ください。

本研究についてお尋ねになりたいことがございましたら下記連絡先にお問い合わせください。個人情報等に支障のない範囲で研究計画書を閲覧することもできますのでお申し出ください。また、苦情等の相談窓口はこども医療センター総務課倫理委員会事務局です。

連絡先 研究責任者 地方独立行政法人神奈川県立病院機構
神奈川県立こども医療センター
理学療法科 安田 紀子
翠川 麻理絵
Tel : 045-711-2351 内線 2703

相談窓口 地方独立行政法人神奈川県立病院機構
神奈川県立こども医療センター
総務課 倫理委員会事務局
Tel : 045-711-2351 内線 2212